

# 波紋

平成22年04月

No. 298

2010 Apr.



昨年に植えた、「十月桜」という桜の花が咲き始めています。もうすぐ春の訪れを告げる満開の桜となるのを楽しみに、この桜を見ながら出社しております。まだまだ小さな木ですが、この桜が年々成長していくのもこれからの楽しみとなりそうです。大きな桜となった時には、その下で花見をするのも良いですね。

## 「活力の源泉」

社長 森 直樹



一年も4分の1が過ぎました。暖かい春を迎えつつあります。陽が徐々に長くなり、空気の匂いが徐々に湿度の高いものになってきています。春と言えば新学期、新年度の始まりですが企業に一番活力を与えるものは、給与アップでも立派な社屋でも、はたまた上役のありがたい言葉でもなくそこで働く人そのものではないかと思えます。これまで培ってきた技術や人的ネットワークを後輩に伝える人、基幹業務など縁の下の力持ちで会社を支える人、そしてこれからの事業を創っていく人。人あつての企業です。そしてその企業が持つ人の活力が企業の活力となります。森松はこの3年間、新卒生の入社はありません。ですがこれからも次世代を担う人材が集い、東京・大阪から中部地区を中心に日本市場のみならずアジア圏までも活躍の舞台とする企業を目指します。市場はより安く、かつ日本品質のものを海外製品に求めます。この一見相反する要求に応えることの出来る企業が我々の業界において非常に有利になることは言うまでもありません。そして日本から世界を見ると、日本品質の良さとは世界で十二分に通用するのは言うまでもなく、これからの市場の役割を担う発展途上国は自国の経済成長により、中国に代表される輸出中心の国は次第に国内消費の拡大が進みます。アジアにおけるプラスチック製品の消費は今後も伸びていくことでしょう。それが現在の私達を取り巻く環境です。今、日本で流通しているレベルの商品がいずれアジアの国々で同じように生産され、流通する事になります。であれば塩ビ、そしてPPその他樹脂で積み上げてきたノウハウをもって海外市場へ挑戦すること、これは決して将来の話ではなく、今から行動することだと思います。そんな一つの目標も共に働く仲間がいるからこそ、実現可能な目標となります。そして仲間と共有する目標、それが明日の活力になります。そんな目標へ向かって共に歩める仲間、お互いの活力となる仲間が今後も集うことを楽しみにしています。

## 「憧れの職業」

黒松 康郎(東京オフィス)



私たちが子供の頃憧れていた職業は、プロ野球選手、パイロット、医者、弁護士、政治家学校の先生、女の子だったら看護婦、保育士、CA、お花屋さんパン屋さんなどだったのかな。私の周りには大人になって本当にその職業に就いた同級生が何人か近くにいた気がする。この前、キッザニア甲子園の入場券を3枚もらったので、娘、息子と3人で行ってきました。キッザニアは子供に仕事を体感させてくれて、場内のみで使える疑似お金が給料としてもらえ、そのお金も場内の銀行に預けてキャッシュカードを作ってくれるという、結構本格的に子供たちに体験をさせてくれる施設である。キッザニアは最初に東京で出来て、関西では最近この甲子園にできた。各ブースには子供しか入場できなくて、大人はブースの外から見学しているだけである。中学生の娘は、ラジオのDJ、全日空のCA、声優、テレビのアナウンサーなどを体験した。小学4年の息子は阪神電鉄の車掌、クロネコ宅急便、オートバックス、マジシャンなどを体験。給料をもらって帰る時に銀行に預けていた。子供たちは楽しかったようです。小学生の子供たちがたくさん来ていて、人気あるのはやはりパン屋さんケーキ屋さん男の子は消防士、電車の運転手などのかな。

裁判所や弁護士などは空いていた。女の子だったら案外全日空のCAは空いていた。病院関係も空いていた。やっぱり最近のニュースなどの影響でしょうか。結構現実が見えてくる世の中だから、憧れではなくなってくるのかな。この先はスポーツ関係も難しいような気がする。本当に世界を目指さないと日本だけでは厳しい、陸上部や野球部を持つ企業も大幅に減った。オリンピックでのメダル数を見ても感じるし選手の苦労話を聞いても感じる。

今の親は塾に行かすだけで、スポーツをさせる余裕もない。スポーツ団体にも子供たちは集まってこない。この子供たちは将来なにをするのかな。宇宙飛行士か、中国語の通訳か、私たちの為に老人ホームで働いてもらおうか。子供たちになにかもつと夢が持てるようにしてあげる方法はないのかなあ。

## 「床屋での会話」

成瀬 勝英(製造部)



行き付けの床屋さんとの会話である。最近はめつきりお客さんが減ってしまった。バブル景気と言われた時代が10とすれば、今はその3割程しか集客が無い、なじみの客も少なくなったとの事。不景気が理由で1カ月に1回が、2カ月に1回になったとかの事情も有るだろう、だが他にも理由が有る気がする……。

最近では駅前や大型施設などに新店している散髪屋に低価格の看板をよく目にするようになった。散髪に行く時期になるとやはり、その値段に興味を抱く。散髪料1000円!は通常の店の3分の1以下である。そこで散髪料の料金設定の訳を聞いてみた。床屋さんの組合に加盟している店は全国的に料金が一律設定されていて、加盟しなければ料金は自由との事。特に加盟している事で恩恵は無いそうだ。低料金の床屋について聞いてみると、同じやり方は無理。人手も無いし、今の集客率で値段下げたら、すぐに冷え上がっちゃう。逆に値上げさせてほしいくらいだ。と一括されてしまった。ちなみに低料金の床屋は行った事がないそうだ。

低料金の店と一般の店の違いはサービスである。方や洗髪やマッサージも含め所要時間が45分〜1時間。もう一方は散髪のみで10分〜15分程で終了。料金も3分の1以下なら所要時間も3分1以下で有り実に解りやすい。

この床屋さんとの付き合いは30年程になる。以前は父、母、本人の3人で店を切り盛りしていたが、お父さんが亡くなられて母親と2人になり、父親と彼の共通の趣味だった、オートバイの話も最近はお父さんがなくなった。趣味を楽しむ時代でもないしね。と寂しげな口調で言う……。おい暗いぞくお客が減ったのは、そのせいじゃない?と言ったら笑っていた。自分だって人の事は言えんにね。



# 次回予告



皆様、森松波紋をいつもご愛読ありがとうございます。  
 次月号より新企画をスタートすることになりました。  
 上海万博を控えている中国上海を上海駐在員より最新情報を  
 掲載し、弊社の合弁会社である四川義信文化用品有限公司、  
 呉総経理、またパートさんのインタビューを掲載いたします  
 ので、よろしくお願ひします。  
 ご期待ください。

波紋編集部一同

## 観戦

西垣 浩二（製造部）

先月、息子と名古屋スタジアムで初めて  
 試合を行いました。  
 試合は2対3で名古屋が敗戦し  
 残念な結果に終わりました。  
 見どころは、今期より加入した田中マルク  
 ス。闘力、攻撃的選手です。武器は長身と強靱な体格  
 です。今までのプレー、武器は長身と強靱な体格  
 所は、今までのプレー、武器は長身と強靱な体格  
 気がしました。  
 今回チケットを従弟から頂いて、息子をつ  
 れて観戦しに行き、グッズ（ユニホーム、ぬ  
 ぐるみ、スタジアムグッズ等）を見たりして過  
 しい、豊田スタジアムは幌の天井を備えて過  
 る、試合観戦に雨具は必要ない所がよか  
 た。と感じました。雨具は必要ない所がよか  
 た。と感じました。雨具は必要ない所がよか  
 た。と感じました。雨具は必要ない所がよか  
 か、名古屋ドームで観戦のチケットも従弟  
 からもらって、いよいよ観戦の日が来ないかと今から楽しみに  
 ています。



# 4月の予定

3日(土) 第1土曜日休み

10日(土) 第2土曜日休み  
(休業実施日)

12日(月) 土田義紀さん誕生日

14日(水) 伊東郁二さん誕生日

中部パック  
(ポートメッセなごや 17日まで)

17日(土) 三輪りつ子さん誕生日

第3土曜日休み  
(休業実施日)

23日(金) 生産会議 12時～13時

CS向上会議 14時10分～15時

経営会議 15時30分～16時30分

24日(土) 第4土曜日休み  
(休業実施日)

29日(木) 昭和の日



## 「遊ぶ」

解昆 (製造部)



「パチンコ道」という本が売れているそうです。パチンコは暇な時にちよつと楽しむ遊びだと思っていたのにそれをまるで、華道や茶道のように呼んでいます。日本の文化には、昔から「〇〇道」と呼ばれるものがあり、その伝統を大切にしてきました。「〇〇道」を学ぶ人たちは、花を飾る、お茶を飲むという簡単にできそうなことに時間を掛け、その形や決まりを身に付けるのです。ある人が「パチンコは単なる暇つぶしじゃない、勝ち負けは自分の腕ひとつだと思うから一生懸命になるのです」と言って、こんな話をしてくれました。「腕ひとつといつても、技術的に上手か下手かだけではなく、気持ちの持ち方まで問題にしているのです。高い技術を身に付けようとして、悩み、苦しみながら精神的にも成長していく。そうして身に付けた技術が心と一つになったとき、パチンコに勝てるのです」その話を聞いて、なるほどと思いました。綺麗に花が飾れるのも、本当にお茶が楽しめるのも、技術と心が一つになったときなのだという考え方です。もしかするとこれと同じ様な考えで、「パチンコ道」「ゲーム道」などという言葉を使っている人がいるかもしれません。しかし、よく考えてみるとこの考え方はちよつとまじめ過ぎるのではないかと思えます。このように考えてしまうと、簡単なことまでがみんな「〇〇道」になってしまうと思います。何でも熱心にやる事はいい事ですが、いつも形や決まった事ばかり考えていたら、本当に遊ぶことがなくなってしまうと思います。時には何もかも忘れて子供の時のように自由な気持ちで遊んでみることも必要だと思います。

